今年も新型コロナウイルス感染症が収束しない限り、日本経済はもちろん、町内経済も厳しい状況が続くと予想されるため、何よりもワクチン接種に町民皆さまのご理解とご協力をいただきながら、全力を挙げて取り組む覚悟であります。

現下のコロナ禍において、人口減少と少子高齢化を鈍化させ、目指すべき目標に近づくためには、多くの困難があると思いますが、ピンチをチャンスに変えて、町民と議会、行政が互いに知恵と力を合わせ、課題解決に向かって進むことが何よりも重要であります。

将来にわたって持続可能な八雲町実現のため、議員ならびに町民皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

以下、第2期八雲町総合計画の基本目標ごとに、基本的な考え方と具体的な方針を申し上げます。

1. 八雲の自然と調和する安心・安全な都市基盤整備

(1) 土地利用の推進

少子高齢化や人口減少の急速な進展を背景に、持続可能な公共サービスの提供のため、コンパクトなまちづくりを目指すとした立地適正化計画の推進にあたり、八雲中心市街地の整備指針である都市計画用途地域指定などを規定するマスタープランの見直し作業に着手します。

令和2年度は、役場本庁舎および公民館等の耐震化と行政機能および公共施設の集約化、新たな防災拠点の構築を図るため、庁舎等建設基本計画の策定に取り組んでまいりました。

今後は、この計画を基本として、平時においても有事においても、すべての人が安心して利用できる庁舎の整備を進めてまいります。

令和3年度は、昨年機能移転を完了した国立病院機構八雲病院および北海道八雲養護学校の跡地・跡施設の取得に向け、協議を進めてまいります。

(2) 自然環境の保全

自然の豊かさに恵まれたまちとして、環境保護、公害防止、地球温暖化対策に継続的に取り組み、特に「八雲町地球温暖化対策実行計画」に基づく進行管理により、温室効果ガス排出量の削減と、省エネ・省資源の取り組みを推進してまいります。

ヒグマやエゾシカなどの有害鳥獣対策については、引き続き、関係機関・団体・住民組織の理解を得ながら、農作物被害防止策の奨励、猟友会の協力のもと総合的かつ安全性を重視した対策を実施していくとともに、ハンター後継者の育成に対する支援を実施してまいります。

(3) 市街地および集落の環境整備

道道の整備である3・4・2出雲通街路に対しては、早期完成へ向け、支援および予算確保の要請を行ってまいります。工事においては、雨水排水施設、水道・下水道管が支障となることから、移転整備を図ります。

町営住宅の整備・改修については、公営住宅等長寿命化計画に基づき、令和3年度は、引き続き出雲町C団地の整備に向けた実施設計を行います。

空家対策の解消については、住環境の保全のため、これまでの特定空家として指定した危険な空家にとどまらず、対象を広げ、その除却に対し支援します。また、引き続き、子育て世帯の空家取得、リフォームに対する支援を図ってまいります。

航空自衛隊八雲分屯基地は、町の振興にさまざまな関りを持ち、災害時における支援活動をはじめ町民生活と密接な関係にあります。

飛行場を有する特性から、滑走路の修繕をはじめとする施設の整備拡充と合わせ、自衛隊員の大規模な訓練適地としての有効活用や新たな部隊の配備を目指すとともに、防衛施設周辺整備事業の制度拡充についても、引き続き関係協力団体と連携しながら要請活動等を実施してまいります。

(4) 道路網の整備

国道229号等の海岸沿いの道路対策では、計画的に高波・越波防止事業が進められていますが、引き続き早急な整備を図るよう、関係機関に強く要望活動を行ってまいります。

国道5号および277号、各道道についても、引き続き、改良整備促進等について関係機関への要望を続けてまいります。特に、北海道新幹線新八雲(仮称)駅から道道八雲北檜山線へのアクセス道路および八雲市街地から新駅までの路線整備、また、本町大通や出雲通の街路整備についても、早期整備を目指して北海道への要望を進めてまいります。

町道については、経年の劣化による損傷が進んでいる路線については、今後も計画的に道路改良整備を進めるとともに、橋梁についても「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、定期点検の実施および維持管理コストの縮減に向けた効率的、計画的な修繕により、道路交通の安全性を確保してまいります。